取付/取扱説明書

品名	適応車種	パーツＮｏ.
NECTO クラッチカバーキット（センタープッシュ式）	ＨＯＮＤＡ　ＡＰＥ１００/ＸＲ１００モタード/ＮＳＦ１００	０１０－５０２－０００Ｓ

この度はネクトクラッチカバーキットをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、本説明書をよくお読み頂き、本製品を正しくご使用ください。また、取り付け前には、必ず商品内容をお確かめください。万一、お気付きの点がございましたら、お買い求め販売店にご相談ください。

〈 特　長 〉

- 従来のカム式機構からセンタープッシュ（２ピース）機構にすることにより、クラッチ操作が格段に軽くなります。
- アップマフラー，ダウンマフラーを取り付けのときブリーザーパイプ等の装着が、取り回しのよい方に付けられる、ブリーザー回路を2ヶ所に設置
- レース必須のワイヤリングボルトを標準装備
- エンジンオイルを抜かずに、フリクションディスク等の交換作業が可能な脱着式クラッチアウターカバーを採用
  ※クラッチアウターカバーを脱着のとき、レーシングスタンドを使用したり車体の傾き具合によってはエンジンオイルが漏れる場合があります。ご注意ください。
- ペーパータイプの脱着式オイルフィルターの採用
- オイルクーラー用フィッティングを標準装備
- オイル量が点検できる、オイルポットウィンドウを採用

本製品の注意事項とお願い

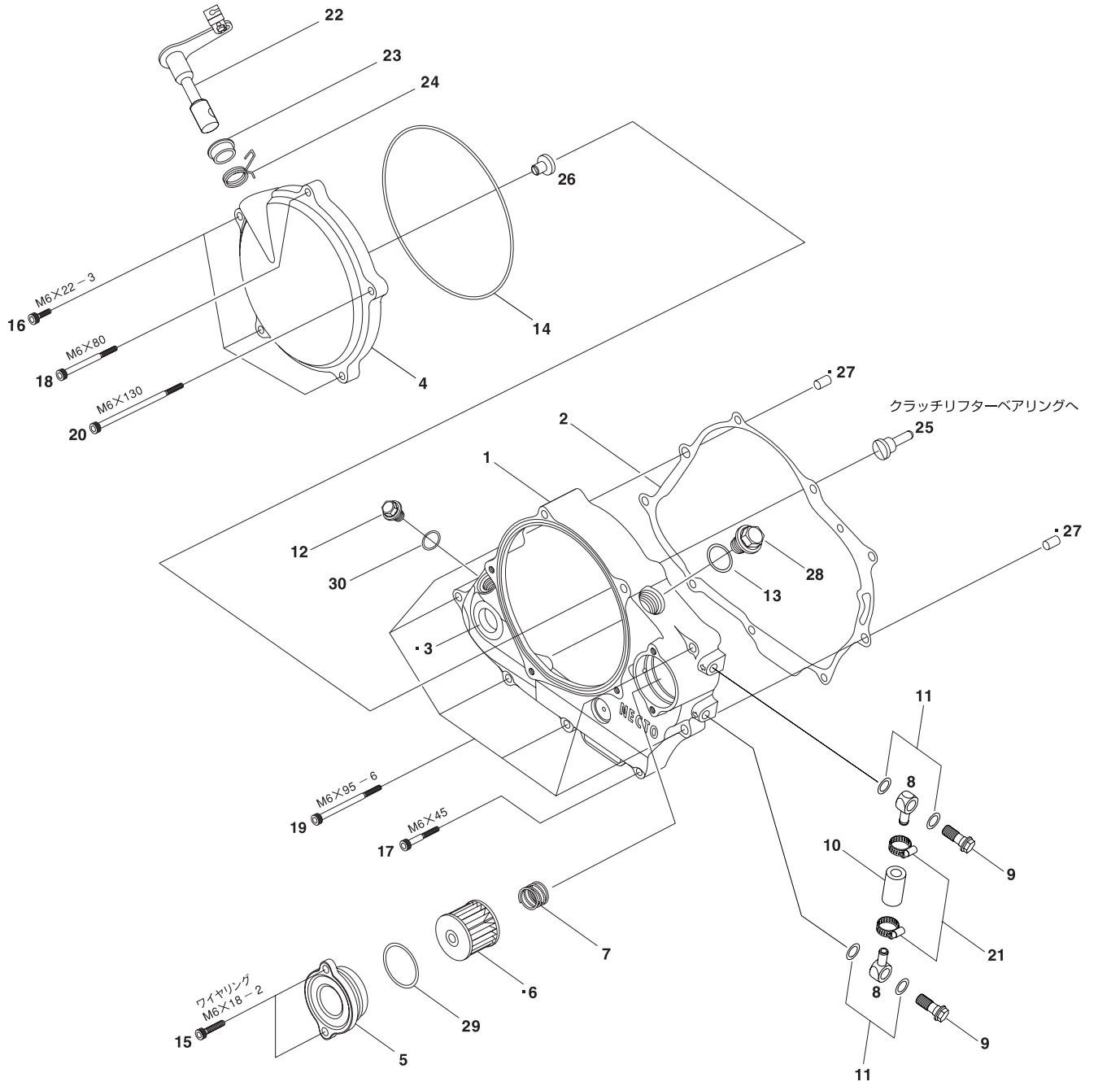
- 本説明書には、正しく安全にご使用頂くための注意事項を示しておりますので、よくお読みになり内容をご理解されてからお使いください。
- 本製品の注意事項および、取扱はオートバイの構造を充分理解されている方を対象としています。交換に不安のある方、自信のない方はお手持ちのオートバイのサービスマニュアルを参考にされるか、整備に熟知した方（整備士の方等）に依頼してください。（工賃は依頼主がご負担願います）
- 取り付けは確実に行ってください。又走行中ネジ部等が緩む事のないように、規定トルクで確実に締め付けてください。
- 補修，交換部品は必ずＮＥＣＴＯ製品または、ホンダ純正部品を使用して下さい。
- ２名以上で作業する場合は、必ず声をかけあうなどして安全を確認しあってください。
- エンジンの各ケースの合わせ面に付着したガスケット材は、きれいに除去してから組み付けて下さい。当たり面の打痕は、オイルストーンで当たり面を均一にみがいて傷の山を取り除いてください。
- 本説明書に記載されていない取り付け、取扱い及び改造加工などを行った場合、本製品の機能等を阻害するばかりではなく、車両等の不具合・事故につながる恐れがありますので、絶対に行わないでください。
  万が一、上記の理由で不具合・事故が起こった場合、当社は一切の責任をもちませんので、予めご了承ください。
- 本製品は、鋳造後のちょっとしたピンホールや、加工時につく押さえキズが多少ついております。品質・性能には、全く支障がありませんので、その点のクレームは一切お受けできません。何卒、ご理解くださいませ。
- XRモタードに取り付ける方へ！　ノーマルマフラーをお使いの場合は、車体のばらつきによってエキゾーストプロテクターがクラッチカバーに少し接触するため、取り付ける前にマフラーをはずしエンジン取り付けボルトを緩め、エンジン本体を下げてください。
- この商品の仕様及び価格は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。

<商品部品構成内容のご注意！！>

- No. 3，6，13，27はホンダ純正部品を使用しております。（商品構成部品内容表の番号の前に・が付いている部品です。）

株式会社 ネクト　〒555-0033 大阪市西淀川区姫島6-4-25 TEL 06-6478-2600 FAX 06-6473-1724
URL:http://www.e-necto.com

部品構成内容



ボルト締付トルク	
M6	10N·m

■商品構成部品内容

番号	パーツ名称	品番	数量
1	カバー、COMP、Rクランクケース	010-502-001CS	1
2	ガスケット	010-501-005	1
・3	オイルシール　18×29×7	91204-286-003	1
4	カバー、クラッチケース（センターブッシュ式）	010-502-002	1
5	カバー、オイルフィルター	010-501-007	1
・6	エレメント、オイルフィルター	15412-HB6-003	1
7	スプリング、オイルフィルター	010-501-008	1
8	バンジョ 10－9	010-501-009	2
9	ボルト、10㎜ バンジョ	010-501-010	2
10	ホース、オイル（35㎜）	NHO-00008	1
11	ワッシャー、10㎜、シーリング	NW-10000	4
12	フィラーキャップ、オイル（M18×1.5）	NT010-10001	1
13	Oリング	91307-035-000	1
14	Oリング（G130）	NT010-56204	1
15	ワイヤリングボルト　6×18	010-501-012	2

番号	パーツ名称	品番	数量
16	ボルト　6×22　キャップ	NCB-06022	3
17	ボルト　6×45　キャップ	NCB-06045	1
18	ボルト　6×80　キャップ	NCB-06080	1
19	ボルト　6×95　キャップ	NCB-06095	6
20	ボルト　6×130 キャップ	NCB-06130	1
21	クランプホース	NCH-00090	2
22	プッシュレバーCOMP	010-502-004	1
23	スプリング、カラー	010-502-005	1
24	スプリング、クラッチレバー	010-502-006	1
25	ピン、クラッチリフターガイド	010-502-007	1
26	ピン、レリーズアーム	010-502-008	1
・27	ピン　8×14　ノックピン	94301-08140	2
28	オイルフィラーキャップ六角	010-501-017C	1
29	Oリング	NT010-10010	1
30	Oリング	NT010-10002	1

・印はHONDA純正を使用

図 1

図 2

図 3

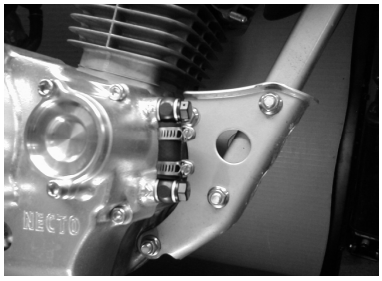


図 4

取付手順（部品構成内容と取付図を参照してください）

1. オイルドレンボルトを外し、エンジンオイルを排出して下さい。
2. クラッチケーブルのロックナットを緩め、クラッチケーブルの接続をリフターアームから外します。
3. キックペダルを取り外して下さい。
4. リアブレーキスプリングをはずし、R.ステップを取りはずして下さい。
5. カバー本体の取り付けボルトを外し、R.クランクケースカバーを取り外します。その時、ケースとカバーの合わせ面に傷が付かないように注意して下さい。(図 1)
6. ガスケットを外して下さい。ノックピンは外さないで下さい。5 の作業のときにノックピンがR．クランクケースカバー側に付いている場合は、傷を付けないように外し、クランクケース側に付けて下さい。また、クラッチケースの合わせ面に付着したガスケット材はきれいに除去してから組みつけて下さい。当たり面の打痕は、オイルストーンで当たり面を均一にみがいて傷の山を取り除いて下さい。
7. 同梱のガスケット（2）をクランクケースに取り付けてください。また、ノックピン（27）がついている事を再度確認してください。（図 2）
   （注）一度、ご使用になったガスケットは使わないで下さい。必ず新品にかえてください。また、ホンダ純正品のガスケットは絶対に使用しないで下さい。オイルラインがふさがれエンジンに重大なトラブルが起こります。
8. ＮＥＣＴＯカバー，ＣＯＭＰ，R．クランクケース（1）を取り付け、ボルトを仮組して下さい。ボルト　6×80　キャップ（18）とボルト　6×130　キャップ（20）は、共締めですので組み付けないで下さい。ボルト長さを間違わないように、必ず、確認しながら入れて下さい。(図 3)
9. 同梱のプッシュ，レバーＣＯＭＰ（22）に、スプリング，カラー（23)、スプリング，クラッチレバー(24)、※（コの字に曲げてある方をプッシュレバーに引っ掛けて下さい）の順に組み付けてください。
10. 9 の作業で組み付けたものを、カバー，クラッチケース（4）へ入れ、ピンレリーズアーム（26）を差し込んで下さい。
11. Ｏリング（14）にグリスをまんべんなく塗り、カバー，ＣＯＭＰ，R．クランクケース（1）に取り付けてください。
12. カバー，クラチッチケース（4）を装着し、仮組みして下さい。ボルト　6×80　キャップ（18）とボルト　6×130　キャップ（20）は、共締めです。
    全部のボルトの取付け完了後、規定トルクで確実に締付けて下さい。
13. オイルクーラーの装着をしない場合は、図 4 のように組み込んでください。(オプションでアールズフィッティング用のユニオン＃６もあります。)
14. リアブレーキペダルの摺動部にグリスを塗り、R．ステップホルダを仮締めしておき、リアブレーキペダルを作動させて、リターンスプリングをペダルになじませた後、ボルトを確実に締め込んで下さい。
15. リアブレーキスプリングをペダルに接続します。
16. キックペダルを取り付け、ボルトを付け、確実に締め付けて下さい。
17. クラッチケーブルをリフターアームに接続して下さい。
18. エンジンオイルを注入してください。約１．１ﾘｯﾄﾙで、車体を平行にした状態でオイルポットウィンドウの真ん中ぐらいにきます。
19. クラッチの調整は、ケーブルガイドのアジャスターを回し、レバーの遊びを 10-20㎜ に調整して、ロックナットを確実に締め付けて下さい。
20. マフラーを取り付けてください。
21. エンジンを始動して、クラッチレバーを握りギヤをローに入れて下さい。このとき、エンジンが停止せず、車体が動き出さないことを確認してください。発進時、クラッチがスムーズにつながることも確認してください。
22. クラッチの作動に問題がなければ、そのまま暖機運転をし、エンジンを停止してから 2～3 分後、水平な場所で車体を垂直に支えオイルポットウィンドウの中心あたりにオイルレベルがあることを確認してください。